

# 平成29年度予算見積調書

課室名：エコタウン環境課  
 担当名：創エネルギー推進担当  
 内線：3004 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B17	燃料電池自動車等普及推進事業費			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	次世代自動車普及促進事業費	
事業期間	平成27年度～	根拠法令	地球温暖化対策推進条例			挑戦項目	10	新たなエネルギー社会の構築	
					分野施策	051143	地球温暖化対策の推進		
1 事業概要			5 事業説明						
水素エネルギーの普及拡大と地球温暖化対策の推進を図るため、平成27年度に導入した公用車や県庁スマート水素ステーションの維持管理、燃料電池自動車の普及、商用水素ステーションの整備を継続するとともに、新たに燃料電池バスや燃料電池トラック等の導入を目指す。 (1) F C V 率先導入 3,279千円 (2) F C V 普及啓発費 4,500千円 (3) 県庁S H S 維持管理費 11,579千円 (4) 燃料電池バス導入事業 6,397千円 (5) F C V 導入補助 100,028千円			(1) 事業内容 ア F C V 率先導入 公用車として導入したF C V (2台) の維持管理 3,279千円 イ F C V 普及啓発費 県民向け試乗会の開催 (8回) 4,500千円 ウ 県庁S H S 維持管理費 県庁スマート水素ステーションの維持管理 11,579千円 エ 燃料電池バス導入事業 県内への導入を目指して燃料電池バスを試験運行 6,397千円 オ F C V 導入補助 購入者への補助 (100万円×100台) 100,028千円 (2) 事業計画 平成27年度 公用車としてF C V 2台を導入、県庁S H S の整備、F C V 導入補助制度の創設 平成28年度 県庁S H S の維持管理 (8年間) 平成29年度 燃料電池バス導入事業の開始 平成30年度 燃料電池トラック導入事業の開始、商用水素ステーションの整備 平成31～32年度 ラグビーワールドカップや東京オリ・パラにおける水素エネルギーの利活用 (3) 事業効果 ・県内全域に燃料電池自動車の普及を積極的に進めることによるCO2排出量の削減 ・F C V ・バス・トラック等が県内を走行することにより、水素社会の到来を県民に広く周知 (4) 変更点 ・「水素エネルギー普及推進事業費」を「水素社会を身近に感じる社会づくり事業費」と本事業に分割 ・燃料電池バスの導入に向けた取組の開始						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.5人=23,750千円									
予算額			財 源 内 訳					一般財源	前年との対比
決定額	125,783							125,783	△96,574
前年額	222,357							222,357	